

生きる上でのヒント発見

東京都立豊島高校（大山敏校長）では、令和2年から、さまざまな分野で活躍する著名人を招き、生徒にメッセージを伝えてもらう「豊島セミナー」を行っている。進路指導の一環で、生徒が生きる上で

東京都立豊島高校

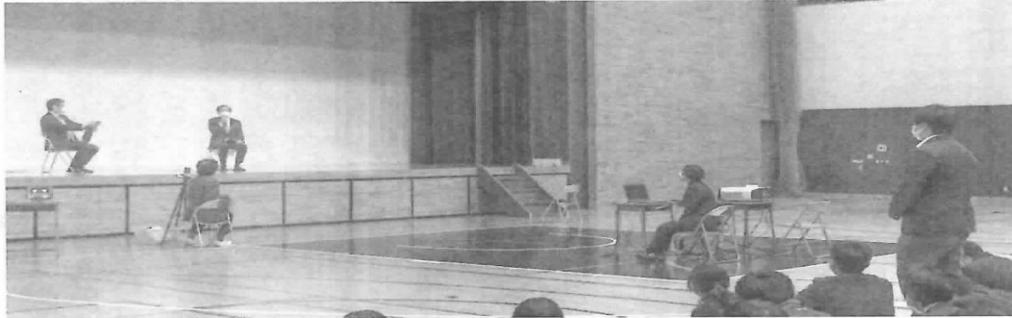
のヒントになることを発見することが目的だ。3月24日に開かれた第4回のセミナーでは、銚子電気鉄道銚子電鉄の竹本勝紀代表取締役が、諦めない心、行動する心などの重要性を1、2年生に示した。

竹本・銚子電鉄代表取締役が高校生にメッセージ

「豊島セミナー」の第1回は、駅の発車メロディーの演奏・作曲で知られる、音楽家の松澤健さん、第2回は、プロレスラーや象形予報士、ナレーターなど多彩な肩書を持つ春日萌花さんを招いた。第3回は、同校所在地の豊島区で活躍する、女性消防士と男性保育士から話を聞いた。

銚子電鉄は千葉県銚子市に本社を置くローカル鉄道。厳しい経営状況の中、ぬれ煎餅や駅名の命名権、線路に敷いてある石を売るなど、ユニークな事業にも取り組んでいる。竹本さんは同社の厳しい経営状況について「与えられた環境であるものを生かすしかない。『諦めない』という気持ちだけでは駄目。行動する中で突破口が開けてくる」と前向きな姿勢を見せた。また「どんな問題でも解決できると思っ

何もしないことが一番のリスク



て取り組んでいる。解決できるから（厳しい）出来事（自分）に起こったと考えると

「何もしないことが一番のリスクなんだ」と話した。竹本さんによると、何もしないことが一番のリスクなんだという。「人生の中でリスクを負うことは多い。不安から希望は生まれる。しかし、リスクを恐れる。『不安は希望の母』という言葉を送った。別の生徒は、アイデアを別の生徒は、アイデアを誘っていた。『机に向かっているだけではない。桃谷順天館や元横浜DeNAベイスターズ投手の中後悠平さんをゲストに呼ぶ予定だ。今はずっとさまざまな情報が、その活用している」と答えた。また、将来会社を経営したいという生徒には、経営者としての心構えを示した。「まず何をしたい会社か、戦っている人を呼んできたを考え、その結果、1年生対象の進路講演会が行われていなかったため豊島セミナーの実施を決めた。豊島高校 03-39508-0121

した。 ほかのことができる。それ

最後に「人間関係は多様を一つにまとめて同じ方向なものがあり、一人一人個を向くようにするのが経営性がある。全員が同じ気持ちの仕事。コミュニケーションを持つことは難しい。たヨクが一番重要だ」と結んだ。人間は相手をおもんだ。

質疑応答 「不安は希望の母」

セミナーの後には、生徒 社会がどうなるかを考えるからの質問を受け付けた。社会貢献の意識を持つ「リーダーとして仲間をまことも重要。その気持ちの下に人が集まる」とアドバイスした。

「不安を不安で終わらせな 実現しなかったアイデアを聞かれると、「ガリッガリ君」というアイスや「キップカッター」というチョコ

レートの話で生徒の笑いを誘っていた。 今後は化粧品メーカーの桃谷順天館や元横浜DeNAベイスターズ投手の中後悠平さんをゲストに呼ぶ予定だ。

当初は各学期一回、年3回の実施を予定していた。しかし、新型コロナの影響で不定期での実施となった。

令和3年度に進路指導主任を務め、セミナーを担当者としていた永井充教諭は、自分で道を切り開いた人や挑戦している人を呼んできたという。大山校長の赴任時、1年生対象の進路講演会が行われていなかったため豊島セミナーの実施を決めた。

豊島高校 03-39508-0121